

第2回千代田区エリアマネジメント団体ガイドライン 検討会における委員指摘対応表

エリアマネジメントについて団体ガイドラインの概要(資料2)について

意見	委員	⇒事務局の返答 ■対応済 ■対応予定
○エリマネ団体ガイドラインが何かが、わかりづらい。連携の考え方やプロセス、団体ないしは連携に特化した構成にした方がよいのではないか。千代田区ではエリアマネジメント活動推進ガイドラインを既に作成している。あくまでもエリマネ活動や地域活動を展開していくにあたって、こういうプロセス、こういう考え方でいくと活動が進みます、という形でこのガイドラインを作った方がいいのではないか。	長谷川 委員	■活動推進ガイドラインと本書の役割分担を記載し、整理
○タイトルもガイドラインではなく、エリマネの進め方、始め方みたいなものだ、町会の皆さんなど課題を持っている人たちが見たとき、こういうふうになれば連携でき、進めていけるということがわかるものになるのではないかな。	長谷川 委員	■タイトルを変更
○タイトルは再考した方が良く感じた。今日の話を含め、みなさんの活動の状況や、どうやってネットワーキングしてきたかということが書かれると、他のガイドラインとは差別化でき、良いものが出来るのではないかな。	丹羽 委員	
○このガイドラインの大きなメッセージとして、チームを作ることが大事であるというのが最初にあった方がいいのではないかな。	長谷川 委員	⇒力を結集するためにチームを作る手法もある、チームを作らずとも連携できる場所があれば否定するものではないというメッセージを出せると、入口として入りやすい。横と繋がるときのアプローチの仕方やまとまり方が課題であるため、今後、研究していく。 ■各団体の強みや団体設立のステップを詳細に記載
○具体的に何をどうやったらそういうチーム作りができるのか、どういうステップを踏めばチーム作りができるのかというのを、もう少し分厚く書くと良いのではないかな。	野原 委員長	

意見	委員	⇒事務局の返答 ■対応済 ■対応予定
○地域に根ざした町会や商店街など単体で活動が出来れば、それはそれでいいが、お互いの活動を補い、それを越えた一つの塊みたいなものができたら良いのではないか。	鈴木委員	■エリアマネジメント活動の実施主体が連携するイメージを記載し、整理
○エリマネの進め方の中では、住民と企業と学校、大学などを繋ぐことが望ましく、さらなる活動の展開の可能性があるということを最初に言ってもいいのではないか。ただし、住宅が非常に多いところをどうするかは悩ましい。	長谷川委員	
○チームで構成される人が、町会だったり個人だったり企業だったり、それぞれがどういう資源を持っているか、どういう協力ができるかを列記し、町会だったら場の提供ができる、企業だったらアイデアとお金と何かを出せるなど、そういうことを整理して盛り込むのはあると思う。	長谷川委員	
○理想としては話し合いながら連携できればいいが、そういう場がそもそも作れないときや難しいとき、場の提供や人材など、マッチングの素みたいなものをこのガイドラインを通じて示せると良い。また、それぞれのチームで構成されている人や団体が、どういう資源を持っているのか、どういう支援ができるのか(町会なら場所、企業ならアイデアなど)を整理できると良い。	野原委員長	
○団体を作って集まりましょうというよりも、皆さんが出会って理解し合える場、繋ぐ場が必要ではないか。また、地域でいろんなことをされている方々の活動が見えにくいことがある。エリマネの促進といった意味では、情報を集約することも必要ではないか。	矢部委員	■エリアマネジメントの支援の考え方で整理
○個人で何かやりたいと言っている人を拾っているわけではないため、何か情報を知れるような環境作りを区に支援していただけると良いのではないか。	土方委員	
○マッチングするにしても、出張所などのエリア単位ではなく、区がイベントや活動を行っている人の連絡先などの情報を一つに集約しておくことが重要ではないか。	細木委員	
○区に新しい住民などにも後押しのようなものをしてもらえると、町会などと上手に繋がれるのではないか。	小林(加)委員	

意見	委員	⇒事務局の返答 ■対応済 ■対応予定
○土地利用は重要なキーワードではないか。隣接や近接している団体とは、手続き等でひとかたまりになれ、連携する必然性や活動の内容・目的が類似しているため、苦労話などの情報連携も含め、共通のテーマがたくさんある。	重松委員	■エリアマネジメントのステップの中で整理した。
○複合市街地ではない住宅地で、エリマネがなぜ必要なのかがまだ腑に落ちていない。夏休みに子供たちとのラジオ体操や小学校を中心とした避難所運営協議会、お祭りなど、地域の方々と連携はしている。	上村委員	■エリアマネジメントのステップの中で整理した。
○エリマネの進め方とした場合、何か企画を立てるとき、何か周りと繋がるとき、資金が必要なときなどプロセスに沿って何が必要なのかということを書いた方が良い。	長谷川委員	■事例紹介の中で整理
○資料3の p19 にエリアマネジメントの「型」の記載があるが、まだしっくりこない。どういうときにどういう道筋でどういうことを考えれば良いかがわかると良い。エリアマネジメントなので、エリア(場所)がどこかというのを考えるのがそもそも大事な話であり、この場所にいろんな人たちが重なっているときに、どう考えていくかを考えるのが基本ではないか。どういう人たちを対象にして、どういう形で関わってやっていくかという道筋みたいなものがうまく示せると、具体的に役に立つものになるのではないか。	野原委員	■エリアマネジメントのステップの中で整理した。
○各地域で、昼夜間、平日・休日にいるステークホルダーが違うため、一般解のエリマネ団体が何かということよりも、千代田区らしい土地利用に合わせた類型としてはどうか。	重松委員	